

2011.11

No.623

Signs & Displays



8F

イタリア料理
リストランテ・トレヴィ

出口 Exit
出口/출구

会議棟

特集

3D技術の現状と 3Dデジタルサイネージへの期待

注目の展示会

第4回九州サイン&デザインディスプレイショウ etc.

アウトドア・アド・マップ

銀座(2)

株式会社 ニューサイトジャパン グラスレス3D立体ディスプレイ70インチ／常設展示 東京ビッグサイト
販売代理店 株式会社 3D・tube／コンテンツ制作 株式会社 エヴァーフリー



LEDウォッチャー

LED WATCHER

完全ガイド

センチュリータワーの 「順天堂大学院」LEDサイン

学校法人順天堂は、東京・文京区の本郷キャンパスに隣接する「センチュリータワー」を2009年に取得した。



東京・文京区の順天堂センチュリータワー。

2011年4月に新たに壁面サインを設置した。サインはLED光源による順天堂のロゴ“仁”と“順天堂大学院”のチャンネル文字。サインの設置にあたり、順天堂の要望は「昼夜を問わず視認性の高いサインを」というものであった。これを受けて、サインの設計・制作を手

がけた(株)ホワイトパープルは、住友スリーエム製の昼夜で見え方が変わる「デュアルカラーフィルム」の使用を提案した。

昼間は白い外壁の上に黒い文字が映え、夜間は周囲に他のサインなどもないことから、他の光に干渉されることなく文字が白く輝いている。順天堂のロゴにはクローズブラウンのマーキングフィルムを使用。金物のフチから少し隙間をあけてシートを貼ることで、点灯時は白く縁取りされるよう工夫した。

「センチュリータワー」はイギリス人の著名な建築家ノーマン・フォスターが手がけ、1991年に竣工した建物。壁面が特殊な構造になっており、サインの改修にあたって外壁と内壁の間わずか数十センチほどで身体の高さも変えられない隙間に、サインを支える鉄骨を新たに入れた。外部サインは地上約80mの位置に取付られ、内壁の支柱鉄骨とサイン支持アンカーを寸分の誤差無く合わせるという難しい工事だったが、「構造設計と施工を担当した会社の高い技術で実現できた」(ホワイトパープル担当者)という。

サイズはロゴがW2,900×H2,800mm。“順天堂大学院”の部分は一文字がW2,040×H1,900～1,980mm。LEDモジュールはアリストジャパン(株)の「ペンタライト APL-WW(白)」を合計854個、LED用電源は、TDKラムダ(株)の「HWSシリーズ」を使用。

- 施主：学校法人 順天堂
- 元請：(株)大林組
- サインの設計・制作：(株)ホワイトパープル
- 構造設計：(株)泉 建築設計事務所
- 施工：(株)ウララネクス



昼・夜で色が変わり視認性が高い順天堂大学院のサイン。



LEDモジュールはアリストジャパン(株)の「ペンタライト APL-WW(白)」(写真上)を合計854個、LED用電源は、TDKラムダ(株)の「HWSシリーズ」(写真下)を使用。